



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	前田 昌信	第2800地区ガバナー	池田 徳博
長井ロータリークラブ幹事	渡辺 清隆	第6ブロックガバナー補佐	高橋 敏行
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel.0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel.0238-83-2047	会報委員	大滝徹・那須修・長澤修司

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成26年10月21日(火曜日) 第2,587回

【月間テーマ】 職業奉仕・米山月間

<例会報告 No.15> ゲスト卓話 第2800地区職業奉仕委員会
大委員長 鈴木一作 氏

☆会長挨拶 (前田昌信 会長)



皆さんはポールハリス氏と米山梅吉氏のかかわり合いを知っていますか。今日は1977年2月23日に当時慶應義塾大学名誉教授であり米山梅吉氏の御曹司の米山桂三氏が卓話された事をご紹介します。

ポールハリス氏と米山梅吉氏のかかわり合いと言っても、ポールハリス氏はアメリカ人であり1905年にロータリーを創設した人で、米山梅吉氏は15年後に東京ロータリークラブを創設した人であまり関係の無い事に思われます。しかしながら二人の経歴を比べてみると共通するものが見えてきます。まず二人とも1865年生まれでポールハリス氏が4月19日、米山梅吉氏が2月4日です。ポールハリス氏はウイスコンシンの田舎に生まれ3歳の時事業に失敗した父に連れられニューイングランド地方に住む祖父母に預けられました。一方米山梅吉氏は江戸に出仕していた大和国高取藩士和田竹蔵の三男に生まれましたが、幕府は崩壊し父が4歳の時に他界しました。その後母親の実家であった三島神社の宮司

の家に預けられ、近郷の豪商であった米山家に見込まれ養子縁組をしました。ポールハリス氏は1887年19歳の時祖父母の家を離れプリネストン大学に入学し法律を学ぶためにアイオワ大学に移りその間収入を得るため地方新聞社の駆け出し記者として暮らし1891年に卒業しました。他方、米山梅吉氏は沼津中学へ通い、1884年16歳の時家出同然で東京へ出ます。再び養父の強い反対を押し切って1887年アメリカの大学に入学しました。苦学生となって8年間 Wesleyan 大学と Cgoacuse 大学に学び志望はジャーナリストに固まっていた。1896年日本に帰り志望する新聞社に就職が決まらないまま1897年三井銀行に入社しました。ポールハリス氏は1896年にシカゴに法律事務所を開きました。両氏とも前述のようにロータリークラブを誕生させました。米山梅吉氏は1928年にポールハリスの伝記を出版し、1935年にポールハリス氏は日本を訪れ、1936年にポールハリス氏の著書「ロータリーの理想と友愛」を出版しました。時は経ち、ポールハリス氏は1947年1月27日死去し、米山梅吉氏はその一年前の1946年4月28日に死去しました。二人には宿命的なものを感じます。

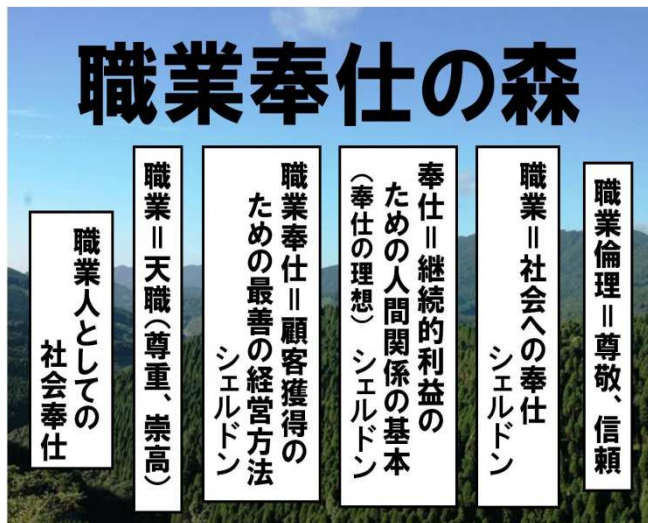
☆幹事報告

- ・ロータリー財団より表彰
- ・親和会会費、小さな親切の会費納入金額決定
- ・福島北 RC 合同例会の参加について
- ・11月プログラム変更のお知らせ



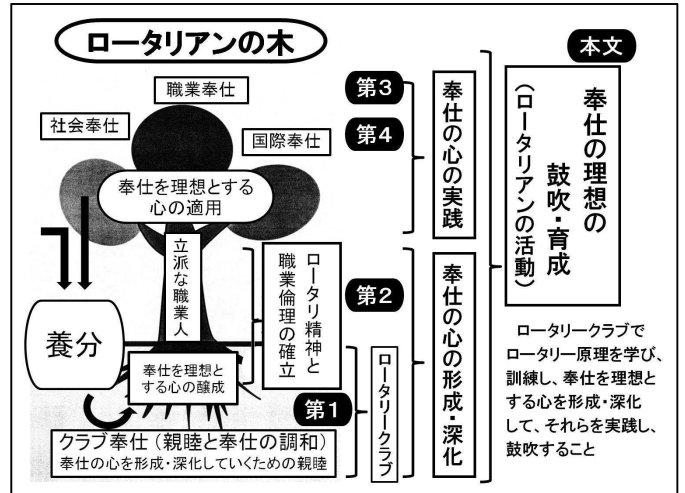
職業奉仕の難しさの1つは、「職業奉仕とは？」の回答が、説明して下さる方によって異なることだと思います。そこで、「職業奉仕は森であり、様々な木が群生している」という考え方で、職業奉仕を捉えてみては如何でしょう。

実際、ロータリーの歴史を振り返ると、この職業奉仕の森には「職業倫理→シェルドンの考え→職業天職論→職業人としての社会奉仕」の順に木々が育ってきたことが分かります。特に最近のロータリーの友誌で喧伝紹介 (active propaganda) されているのが、最後の「職業人が社会に奉仕すれば、それも職業奉仕である」という考え方です。個人的には好きではありませんが、現在のRIが推奨している考え方であることは確かです。



次に、ロータリーの目的 (綱領) についてお話しします。要点をまとめれば、①ロータリーの目的 (綱領) とは、ロータリアンの目的という意味であるということ (主語=ロータリアン)。②冒頭の文は (前文ではなく) 本文であり、その後の4項は本文を具体的に解説したものであるということ。③第1項の「知り合い」とは、ロータリークラブのメンバーを指すということ。④第1項の「知り合いを広める」とは、親交を広め深めるという意味 (親睦) であり、その親交の場が例会であるということ。⑤第2項は、立派な職業人としての「ロータリー精神と職業倫理」の確立を目指す内容であるということ。⑥第3項と4項は、ロータリアンの奉仕の実践を示したもので

あるということ。⑦冒頭の文にある「事業 (enterprise)」とは、ロータリアンの活動という意味ではないかということ。そして、以上をまとめると、ロータリアンの木 (図参照) になるわけです。すなわち、木の根=「奉仕を理想とする心の醸成」、木の幹=「立派な職業人たるロータリアン」、木の葉=「奉仕の実践」です。なお、このロー



タリアンの木と「ロータリーの目的」との相関は、図を参照していただければ分かり易いと思います。

最後に一。小生の大好きな「大連宣言 (ロータリー宣言)」は、満州大連クラブの古沢丈作氏が「ロータリーの綱領」と「職業倫理訓」の真髓を表現したものとして有名です。その内容を一言で語るなら、「我、道義の心を高め続ける、誇り高き立派な職業人たらん」でしょう。まさにそれは、上記の「ロータリアンの木」そのものであり、「ロータリークラブの活動基本は人づくり」ということになるわけです。

☆出席報告

10月21日例会 報告者：横澤 (寿) 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日	30 (1)	19 (1)	63.33 %			
前回 (10/14)	30 (1)	18 (1)	60.00 %	3	21 (1)	70.00 %
前々回 (10/7)	29 (0)	22 (0)	75.86 %	1	23 (0)	79.31 %

<ニコニコBOX>

- ・前田 昌信 会長
 - ・渡部 保太郎 PG
 - ・遠藤 伴明 会員
 - ・手塚 典雄 会員
- ゲストを歓迎して